

Katsuyama

KATSUYAMA HIGH SCHOOL NEWS

vol.49

2017.12



Contents

同窓会会長・校長挨拶	2
活躍する卒業生	3
同窓会だより	4・5
母校だより	6
活躍する部活動	7
平成29年度 創立記念講演会	8
会計報告・同窓会役員	9
進学・就職実績	10
事務局だより	10



同窓会会長

山下 豊

ご挨拶

同窓生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃より勝山高校並びに勝山高校同窓会に対し、多大なご支援、ご協力を賜り、心から感謝、お礼申し上げます。

今回も皆様のご援助により、同窓会報を無事発行することが出来ました。大変多くの皆様から多額の浄財をご提供頂きましたこと、改めて感謝申し上げます。

お蔭様で本号より2頁増やし、それにより文字も一回り大きくすることが出来ました。随分読み易くなったと自賛しております。記事のスペースも多少増えました。同窓生の近況等各種の情報提供をお待ちいたしております。

さて真庭市も合併13年目。太田市政も2期目に入りました。バイオマス等地域挙げての様々な活性化への取り組みは一定の成果を上げておりますが、それでも人口減少、少子化の流れになかなか思うように歯止めがかからない状況です。皆様にご心配頂いております定員割れの問題についても、神田校長始め先生方のご努力により一時より随分改善されて来てはおりますが、依然として楽観を許さない状態は続いております。

先頃ある講演を聴く機会がありました。その中で一つの話が印象に残りました。それは高校まで地元の学校に行った子は、中学校までで地元を離れた子と比較して地元に戻る、或いは残る割合が格段に高いということです。なるほどなと納得しましたが、この真庭が将来にわたり豊かで、持続可能な地域であるためには、真庭に中学生とその保護者が行きたい!行かせたい!と思う高校の存在が是非とも必要だということだと思えます。この地域にとって勝山高校の役割は大変重要です。

同窓生の皆様にはこれまで以上のご指導、ご支援を賜り勝高が更に魅力ある学校となり、進学希望者が増えるようご協力頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、同窓生の皆様の益々のご健勝、ご多幸をお祈りしご挨拶といたします。



校長

神田 裕子

地域に信頼され、生徒の活躍の場が広がっています!

勝山高校では生徒主体で実現した「学校生活を充実させる工夫」が色々と蓄積されてきています。今年度特に強く感じたのは、生徒の地道で誠実な活動を、地域や周囲の方々が高く評価してくださり、生徒の活躍の機会が益々増えているということです。生徒は多種多様な経験を積んでいます。

のれんの町勝山のもみじ祭りへは、ビジネス科1年生が毎年参加していますし、お雛祭りのボランティアには、最近ビジネス科・普通科双方の生徒が参加しています。普通科2年生の科目「スポーツⅡ」の選択者が数年前に始めた「わんぱくkids in 勝高!」の取組や、中学生への学習支援など、異年齢の方との交流も好評です。

生徒総会で新設が認められたサイエンス同好会は、数年前から有志の活動として物理チャレンジに参加したり神庭の滝のサルの見学会を実施したりしていましたが、その御縁から今夏には、神庭の滝で長年サルの研究を続けておられる大阪大学人間科学部の主催で「勝山高校・大阪大学交流シンポジウム」を開催していただきました。人工知能等の研究者や大学院生が、大阪大・一橋大・京都大・岐阜大から多数来校されて最先端の研究を紹介くださり、参加した生徒達は大いに刺激を受けました。

また、真庭市教委主催で冬・春・夏に久世公民館で行われている小学生の学習支援活動には、勝山高校生が教育系志望者を中心にボランティアとして参加してきましたが、その熱心な姿勢を評価いただき、この夏には「サマースクール」と銘打って、高校生が自分達で授業を企画・実施する時間を4コマも設けていただきました。慣れない中で小さな失敗も経験しながら一生懸命に授業を進め、大きく成長できた貴重な機会でした。

勝山高校では今後も、「心のこもった挨拶」を第一歩とする勝高の良い伝統を継承し続け、知性や主体的な発信力・行動力に一層磨きをかけて、「勝高の進化」を加速するよう努力していきます!

同窓会会員の皆様、ぜひ良い機会にお立ち寄りいただき、後輩の様子を御高覧ください。

活躍する卒業生



Seiji Yamada

山田 誠二

高18回生(昭和42年勝高普通科卒、
明治大学政経学部46年卒)
新日鉄株総務部部长
鈴木金属工業株常務取締役

私の歩んできた道

昭和40～42年在学し、当時を振り返ると先生・生徒共に枠にとらわれない自由闊達な校風であった。私は野球をしたくて勝高に来て、当時は全国大会常連のサッカー、相撲のようになりたいと体力作りとボールに毎日取り組んだ結果が「プロのドラフト」にかかり明治大学野球部にすすむことができた。

明治大はご承知のとおり、島岡吉郎監督は毎日が厳しい「礼と節度」の精神野球で、同期は全国に名だたる80人入部して卒業時は11人しか残らなかったくらいに地獄の4年間であった。(数々の事例があり語りつくせない)

強豪新日鐵株八幡から昭和46年勧誘され、昭和49年には4番中堅手として都市対抗野球準優勝を達成でき成し遂げたという満足の在籍6年間であった。

職場配置となり、名古屋支店～君津野球監督～本社(建材営業、総務)鈴木金属株と各種業務に取り組んだ。勿論各職場では多くの方々の薫陶叱咤を受け、社内では有力大出が大半の中を社の代表として全国を廻り成果を上げることができた。

平成23年会社員生活を終え草加部に帰ってきた所、久世中、勝山高の旧友をはじめ先輩諸氏の暖かく心強い受け入れをしてもらっております。現在は荒廃した田畑に、きれいな赤い茎に白い花のそば栽培に着手し、今ではその粉を使ったそば店「やま田」を開業しております。このきれいなそば畑を広げていくことが地域活性化の一助になると確信するとの新たな目標に向かって邁進中です。

私の、人生は勝高での中身の濃い毎日そして野球が原点である。熱中し、有力選手・他チームに臆することなく切磋琢磨して来た事に尽きる。その信条を基にこれまでの社会人生活での難関を切り抜ける事が出来たと自負している。

今年の勝山高野球部は、夏の予選立派な戦いでした。各人の力量は有力校に負けない素晴らしいものでしたよ！地元選手が県南に持っていかれないような勝山高の受入体制の整備、保護者、周辺中学校の理解を得て選手の確保し、更なる前進を！ 近いで甲子園は！

勝山高時代はサッカーづきの毎日で、正月の全国高校サッカー選手権大会には3年連続出場し、昭和39年の3年生主将時には帝京高校(東京)や徳島商業高校を下し、岡山県初の全国ベスト8入りを果たしました。

卒業後は後輩の全国大会出場を願って14年間共に練習し、また平成23年5月まではサッカー部OB会の幹事・会長などを歴任いたしました。現在も1月2日の初蹴や試合の応援に54年間通っています。

NTTを早期退職後、平成14年4月にサッカーで鍛えた足腰を生かして勝山高前に「人力車まつもと」を開業し、観光PRに努めてきました。そして目標としていた15年間運行は今年4月に、有料走行3,000人は今年9月30日に達成し、NHKをはじめ多くの新聞・TVで報道されました。元気とはいえ間もなく72歳。後継者を捜しながら後1年頑張ります。

「人並みの努力は人並みの結果、ベストを尽くせ！」



Takaaki Matsumoto

松本 高明

高15回生(昭和39年卒)
人力車まつもと 代表



Mikihiko Ishiga

石賀 幹浩

高40回生(平成元年卒)
2011年 B-1グランプリ 優勝
ひるぜん焼そば 好いとん会

「たばこを吸いながら、劣等生のこのほくに、すてきな話をしてくれた♪」RCサクセションの歌を聴きながら、勝山高校でずっとお世話になった私の遠縁にあたる『ぼくの好きな先生』勝山高校元教員、横山俊祐先生を思い浮かべている。

蒜山中学校2年生の時、自宅でモクモクと煙草を吸いながら「勝山にくりゃあ、ワシが面倒は見ちゃるけん」。父とよく酒を交わしていたこのおじさんが教師だと知った。先生の言葉通り勝山高校に入学。当時、先生が男子寮の寮長をしていた経緯で、寮生活を3年間。職員室で、寮生活で、ホント沢山のゲンコツもらったあの日々が懐かしい。先生の影響で東京の大学へ進学。その後、英国留学中に、横山先生は64歳の若さで他界された。

実家の家業を継承するために、故郷へ帰った。「お前は長男じゃけん」先生の言葉がなかったら帰郷していないと思う。帰った以上は故郷に錦を飾りたい。その思いもあり『ひるぜん焼そば好いとん会』を結成し、B-1グランプリで日本一に輝いた。

居てほしかった。見てもらいたかった。僕の好きなおじさんに。ぼくの好きな先生に。いつも思う。私はあなたに褒められたくて。ただそれだけで。

勝山高校でお世話になった『ぼくの好きな先生』。あなたに代わって、いまでも褒めてくれる人を探しているのかもしれない。

同窓会だより

本部総会・懇親会報告 山本 茂樹 高37回(昭和61年卒)

「50歳の紙飛行機」

「人間50年 下天のうちをくらぶれば夢幻の如くなり 一度生を受け減せぬもののあるべきか……」。織田信長が舞「敦盛(あつもり)」で例えた年齢50歳。ついに、私たち昭和61年卒業の普通科第37期生・商業科第22期生同窓生は迎えることになりました。

そして、先輩諸氏から連綿と受け継がれた伝統、「齢50を迎えるにして同窓会と懇親会を盛り上げる」という大命を受け継ぐことになったとき、前年度招待を受けた面々の第一声は「どうすりゃあ……(汗)」でした。

しかし、代表幹事が地元在住同級生たちに、あの手この手の作戦で連絡をとってみれば、会議初日からいきなり35名も集まり、そこから先は同級生女子の怒涛のごときハッパがかかり、その勢いに後押しされて「おもてなしのためのアトラクション」の猛練習が始まりました。

続いて気になるのは同級生の参加希望状況。一次集計結果が悪く代表幹事が気落ちしていると、ICTを駆使して日々の練習風景・会議風景を情報発信。いつのまにか昭和61年卒生の仮想空間内でのコミュニケーション人数も80名を超えていました。準備は万端、いざ、出陣。結果、懇親



会当日の同級生も、95名に達し、磨き上げたアトラクション、見事に組みあがった役割分担が会場に笑い・感動を誘い盛り上がり、同窓会終了後も繋がる仮想空間内でも「楽しかった」の声が溢れていると聞き、幹事ひとりひとりの小さな真心が大きな力になったと感謝するばかりです。

人間50年。勝山高校を卒業して32年。会場にひとりひとり映し出された卒業時の写真。コーラスのメンバーが歌った365日の紙飛行機の「どこをどう飛んできたのか」。笑った日、泣いた日の365日を積み重ね、同窓会当番幹事という機会を与えていただき、あの日再会することができました。そして、今日もまた、それぞれの空の下で紙飛行機のようにきっと皆飛び続けているのでしょう。

また、いつの日にか、それまで「元気でいてください」。



平成30年度本部総会のお知らせ

来年度の当番幹事は、昭和62年3月卒業の皆様方です。ご協力よろしくお祈いします。

日時 平成30年8月12日(日) 11時より

場所 勝山高校同窓会館

懇親会 12時より **会場** 勝山文化センター

東京支部総会・懇親会報告 畑 博道 高21回(昭和45年卒)

6月17日(土)勝山高等学校同窓会東京支部総会・懇親会を昨年同様とっとり・おかやま新橋館2階もてなし家で開催しました。

今回は残念ながら都合により本部役員の方は不参加でしたが、母校から神田校長・前田先生が遠路ご臨席下さいました。

亡くなられた方への黙禱をささげた後、総会に入りました。

ご来賓の神田校長より温かいお言葉を頂戴し、前田先生より母校の現状などのお話を伺いその後役員改選の議題も承認され、苦田顧問(昭和27年卒)の乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。

郷土からの美味しいお酒や料理、楽しい話題に盛り上がり、梅林豊様(昭和20年卒)の楽しいお話や小間繁子様(昭和35年卒)キングレコード専属吟士の詩吟に酔いしれ、二宮真理子様(昭和48年卒)の音頭で全員で母校の校歌を高らかに歌い、歓声と拍手に包まれました。

最後に松田顧問(昭和28年卒)にお言葉を頂き、皆様の健康と来年の再会を約束して閉会しました。

今年は、亀井杏果様(平成29年卒)を初め多数の方に参加して頂き、楽しい時間を過ごし大いに盛り上がりました。来年も同時期、同場所で開催予定です。参加者が増えることを期待します。



関西支部総会・懇親会報告 古瀬 寿江 高34回(昭和58年卒)

平成29年5月21日(日)関西は初夏を感じさせる晴天の中、新大阪ワシントンホテルにて、勝山高等学校同窓会関西支部の総会・懇親会が開催されました。

司会は、今年度幹事の原田容三郎氏が務め、冒頭、この1年間に亡くなられた方々への黙禱が捧げられた後、木村支部長の挨拶・来賓の方々の紹介が行われ、総会が始まりました。

同窓会本部・山下会長、母校より園田副校長と山下先生、岡山県大阪事務所所長・小原真紀子様より、それぞれご挨拶のお言葉をいただき無事終了いたしました。

続いて、石田様の乾杯の音頭で懇親会の始まりです。

あっという間に宴会場へと化した各テーブルには、地元のお酒(御前酒)も加わり、プチ同窓会が始まりました。皆さん久々の(?)再会に、お酒の力も多少加わってか声のトーンも高く、聞こえてくるのは笑い声ばかり……私たち高34回(昭和58年卒)も、度々会っているメンバーに、卒業以来久しぶりに再会した友達、わざわざ東京や地元・真庭から参加してくれた仲間も加わり、制服すら着ていないものの気持ちは高校生真っ只中!……当時の思い出話や写真撮影、卒業アルバムまで登場し、(当

時がわかるように、友達が持参してくれました)時間の経過を忘れて盛り上がりました。そんな中、ビンゴゲーム大会が始まり、懇親会は最高潮に……

その後、記念写真撮影、校歌斉唱を行い、恒例の40年卒・山本一幸様の力強いエールの唱和にて、全てを終了致しました。

今回、59年卒の方々の参加がなかった為、次へのバトンをお渡しできなかった事だけが心残りですが、来年5月20日も盛大な同窓会が開催できる事を心よりお祈り申し上げます。



母校だより



修学旅行

6月6日(火)～9日(金)の4日間、2年生154名は東京とシンガポールの2コースに分かれて修学旅行に行ってきました。

東京コースは、「東京でなければ出来ないことを体験する」ことを目標としました。初日にディズニーリゾートを満喫しました。2日目は、興味関心や将来の進路志望によって分かれたコース別研修をした後、夜は希望によって分かれ野球観戦、お笑いライブ、劇団四季観劇などを楽しみました。3日目は班別自主研修、水上バス体験、最終日は赤レンガ倉庫・横浜中華街散策などを経て帰途に就きました。

シンガポールコースの目標は、「多文化に触れ、国際的視野を身につける」ことです。現地大学生と行動をともにする班別研修やマレーシアでの学校交流では、英語を駆使して意思疎通に奮闘する姿が見られました。異文化を肌で感じ、積極的にコミュニケーションをはかる態度を養うことができたシンガポールコースでした。



学校行事

第18回 鼓山祭



文化の部
美術部パフォーマンス



文化の部 舞台B(ダンス)



体育の部
開会式

体育の部 応援合戦



9月1日(金)～3日(日)に第18回鼓山祭が開催されました。文化の部では有志によるステージ発表や、各団による演劇・ダンス・展示が行われました。今年度は有志の部で書道パフォーマンスを行ったり、展示の部では最近の流行であるSNSのインスタグラムの写真投稿を参考にし、写真撮影スポットをつくったりするなど、新しい風を鼓山祭に巻き起こしてくれました。また、体育館では巨大なサイドスクリーンを設置し、舞台や展示の紹介動画を流すだけでなく、舞台での様子を撮影し、ライブ映像を流すなど、昨年の良い部分をさらに発展させようとする姿勢が見えました。準備期間が短くなったなか、生徒たちは創意工夫をこらせ鼓山祭を大いに盛り上げてくれました。

体育の部では、各団熱戦を繰り広げ、最終種目まで優勝が分からない迫力ある熱戦を繰り広げました。各団による応援合戦も新しい掛け声生まれるなど、文化の部に引き続き新しい歴史を作ってくれました。また、PTA・OB・OGの方々も競技に多数参加していただき、生徒だけでなく、観覧に来てくださった方の力もお借りし、昨年以上に魅力あふれる体育祭になりました。

3日間を通して、今年の鼓山祭は生徒達の「挑戦」が多く見られました。それは「応援団の新たな掛け声」であったり、「サイドスクリーンでのライブ映像」であったり、新しい風を巻き起こし、さらに良い伝統を築きたいという生徒達の熱い思いを存分に見せてくれる鼓山祭であったと思います。

活躍する部活動

■ 勝山高校バレーボール部

勝山高校バレーボール部は、現在男子15人、女子17人で活動を行っており、男女ともに目標である「県大会ベスト8」を目指し日々練習に励んでいます。

バレーボールはその競技の特性上、一人ではプレーできませんし、「繋ぐこと」や「真摯さ」、また常に現状把握をしながら次の一手を考える様は生徒達がこれから生きていく上で欠かせない要素となっていくものと思っています。

そして、男女ともに新1年生は県内でも例を見ないほど大勢の生徒が入部し、必ずや目標であるベスト8入りを果たしてくれるものと思います。

また部活動を行うにあたり、地域の方々のご理解やご協力に感謝いたしますと共に地域貢献活動を通じて少しでも勝山地域の力になれば、これほど嬉しいことはありません。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



平成29年度 部活動 主な成績

運動部

■ 軟式野球部

平成29年度春季岡山県大会 ベスト8
第64回美作地区総合体育大会 優勝
第56回岡山県高等学校総合体育大会 第3位

■ 硬式野球部

第98回全国高等学校野球選手権岡山大会
1回戦 岡山東商業 1-2
2回戦 総社南 1-8 (7回コールド)
3回戦 岡山城東 6-3 ベスト16

■ 陸上競技部

第56回岡山県高等学校総合体育大会
女子4×100mリレー 準決勝進出(ベスト16)
(石井、片岡、森重、住田)
第64回美作地区高等学校総合体育大会
住田 こと乃 100m 2位
森重 ユウ 400m 2位
岡本 宙 砲丸投 3位
瀧崎 瑛 100m 3位
松本 有加 円盤投 3位
女子4×100mリレー 2位
(石井、片岡、森重、住田)

■ 男子バレーボール部

64回美作地区総合体育大会 準優勝
第56回岡山県高等学校総合体育大会 ベスト16

■ バドミントン部

第56回岡山県高等学校総合体育大会
バドミントン競技会 男子 女子 出場

■ ワンダーフォーゲル部

第57回中国高校登山大会 男子 出場

■ 水泳競技

第56回岡山県高等学校総合体育大会(水泳競技)
菱川 悠希
男子400m/200m個人メドレー 1位/1位
西 祐太郎
男子200m自由形 3位
原田 大地
男子200m背泳ぎ 3位
第65回中国高等学校選手権水泳競技大会
菱川 悠希
男子400m/200m個人メドレー 3位/3位
第85回日本高等学校選手権水泳競技大会
菱川 悠希
男子400m/200m個人メドレー 出場

文化部

■ 美術部

岡山県高校生美術コンクール
銀賞 2年 森江 茉美
第4回勝山高校美術部展 美々っと!展開催
(於 カフェギャラリーにて)

■ 書道部

第22回中国地区高等学校書道コンクール
NHK鳥取放送局賞 1年山本理子

■ 吹奏楽部

第58回岡山県吹奏楽コンクール
高等学校A部門 銀賞

■ コンピュータ部

ビジネス文書検定取得

■ 文芸部

高校生文芸道場中国ブロック大会
文芸誌部門 入選

平成29年度 創立記念講演会 開催報告

講師 中島 浩一郎氏 銘建工業株式会社 代表取締役社長
(高22回生 昭和46年卒)

10月8日の創立記念日を前に、10月6日（金）、本校体育館にて創立記念講演会が行われました。講師に前年度の本会報『活躍する卒業生』で紹介されていた中島 浩一郎氏をお招きし、「勝高から まにわから～広い視野と高い志をもって生きよう～」という演題で御講演をいただきました。世界を舞台に活躍され、本当にお忙しい中おいでくださった大先輩にお話しいただき、大変貴重な機会となりました。講演では、御自身の高校時代の思い出から現在へ至る経緯や、世界の未来に目を向けた更なる志をお聞かせいただきました。生徒の感想には、「身近なところにある小さなチャンスを逃さず、大きなチャンスをつかんだ挑戦がすばらしい」、「地元真庭が世界に注目されていることを誇りに思う」という声が多く聞かれました。講演会の目的である「講演を聴くことで、高い志を持ち自ら課題を解決しようとする人材を育成する。」にまさにふさわしく、生徒の心に響く御講演をいただけたと思います。



中島浩一郎氏のプロフィール

1952年岡山県生まれ。岡山県立勝山高等学校・横浜市立大学卒業後、1976年銘建工業株式会社に入社。2004年より代表取締役社長。家業の製材業を集成材の国内トップシェア企業に育て上げたほか、新しい木質構造材であるCLT(cross laminated timber)の国内での技術開発・高層建築材等としての普及にも取り組んでいる。また、最先端の木質バイオマス事業でも知られ、先進的な取り組みで国内外から脚光を浴びている。2013年真庭バイオマス発電株式会社の代表取締役社長に就任。

会計報告

平成28年度 同窓会会計決算書

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘要
繰越金	590,342	590,342	0	平成27年度からの繰越金
生徒入会金	790,000	785,000	△5,000	生徒入会金5,000円×157名
雑収入	658	39,219	38,561	当番幹事等寄付・預金利息等
合計	1,381,000	1,414,561	33,561	

支出の部

(単位：円)

科目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	残額	摘要
広告費	50,000	0	50,000	43,200	6,800	同窓会本部総会広報用
旅費	180,000	48,000	228,000	227,240	760	支部総会出席旅費等
会議費	100,000	16,000	116,000	116,000	0	支部会議費
慶弔費	40,000	0	40,000	10,800	29,200	役員等慶弔費
通信費	30,000	0	30,000	8,220	21,780	郵送料
助成費	250,000	0	250,000	220,000	30,000	各支部助成金
需用費	100,000	63,000	163,000	162,095	905	消耗品購入費等
予備費	631,000	△127,000	504,000	0	504,000	
合計	1,381,000	0	1,381,000	787,555	593,445	

収入済額 1,414,561 - 支出済額 787,555 = 残額 627,006 (平成29年度へ繰越)



昭和10年頃の校門



体育館新設(昭和36年)



体育祭 立体的な応援団席(昭和48年)

平成28年度 同窓会会報会計決算書

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘要
繰越金	862,253	862,253	0	前年度からの繰越金
賛助金	2,322,000	2,330,000	8,000	858件
雑収入	747	0	△747	
合計	3,185,000	3,192,253	7,253	

支出の部

(単位：円)

科目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	残額	摘要
賛助金振込手数料	104,000	2,000	106,000	101,970	4,030	
会報発行費	1,545,000	2,000	1,547,000	1,541,712	5,288	
口座振込手数料	0	1,000	1,000	648	352	
予備費	1,536,000	△5,000	1,531,000	0	1,531,000	同窓会会員名簿作成補助金
合計	3,185,000	0	3,185,000	1,644,330	1,540,670	

収入済額 3,192,253 - 支出済額 1,644,330 = 残額 1,547,923 (平成29年度へ繰越)

左記のように、このたびも会報に多額の協賛金を頂戴しました。皆様のご温情に心より感謝いたしております。賛助金のおかげで今回はページ増で、活字も大きくした形でお届けすることができました。年に一度の会報ではありますが、今後とも変わらぬご理解・ご支援のほどよろしくご願ひ申し上げます。

同窓会役員

役名	氏名	卒期	役名	氏名	卒期	役名	氏名	卒期
顧問	中島 道夫	中15	監事	加納 容子	高17	勝山支部長	結家 恭一	高13
顧問	近藤 正美	中19	会計事務長	田中 健一		大佐支部長	金平 敏数	高13
会長	山下 豊	高20	東京支部長	畑 博道	高21	中和支部長	由井 堅史	高30
副会長	松浦 征護	高14	岡山支部長	内山 満義	高22	美甘支部長	池田 文治	高20
副会長	秋元美知子	高17	関西支部長	木村 康雄	高17	新庄支部長	坂本 茂樹	高27
副会長	太田 詳子	高17	津山支部長	長谷川道和	高5	八束支部長	小谷 仁志	高30
副会長	三船 昌行	高17	鳥取支部長	山藤 輝彦	高3	久世支部長	石村 修	高30
副会長	岡田 健	高21	島根支部長			月田支部長	土井 政男	高17
副会長校長	神田 裕子		川上支部長	徳山 周一	高25	富原支部長	久重 俊正	高8
監事	近藤 英幸	高19	落合支部長	道満 祥雄	高19	湯原支部長	山谷 逸士	高16

進学実績

《平成28年度3月合格者状況》※()は既卒で内数

学校名	合格数
室蘭工大	2
山梨大	1
京都教育大	1
鳥取大	1
島根大	7
岡山大	5
山口大	1
愛媛大	1
高知大	2
国立大学合計	21

都留文科大	1
鳥取環境大	2
島根県立大	(1)
岡山県立大	3
尾道市立大	2
福山市立大	1
下関市立大	1
高知県立大	2
高知工科大	1
長崎県立大	1
公立大学合計	15(1)

学校名	合格数
東北芸工大	1
青山学院大	1
大東文化大	1
駒澤大	1
帝京大	1
多摩美大	4
東京造形大	2
女子美大	2
国立音大	1
神奈川大	1
皇學館大	1
同志社大	1
龍谷大	2
京都産業大	3(1)
京都橘大	1
京都造形芸大	1
京都看護大	1
森ノ宮医療大	1
大阪経済大	3(1)
大阪成蹊大	1
大手前大	1
帝塚山大	2
奈良大	1
神戸親和女子大	1
神戸学院大	3(1)
神戸常盤大	1
就実大	3
清心女子大	9
川崎医療福祉大	1

学校名	合格数
岡山理科大	5
環太平洋大	2
岡山商大	3
吉備国際大	1
くらしき作陽大	1
美作大	11
広島工業大	4
広島経済大	1
安田女子	1
福山大	1
エリザベト音大	1
立命館アジア大	1
私立大学合計	84(3)

島根県立短	1
倉敷市立短	2
新見公立短	3
公立短大合計	6

三重短	1
関西外大短大部	1
神戸女短	1
湊川短	1
美作短	6
就実短	2
中国短	4
作陽音短	1
私立短大合計	17

学校名	合格数
岡山情報ビジネス学院	5
岡山高等歯科衛生専門	3
岡山ビジネスカレッジ	2
ウチナーナショナル短期大学	1
岡山労災看護専	1
専門学校ピーマックス	4
岡山・建部医療福祉専門学校	1
旭川荘厚生専門学校	1
岡山歯科技工専門学校	1
玉野総合医療専門学校	1
倉敷中央看護専	1
朝日医療大学校	1
津山中央看護専	2
YMCA米子医	1
神戸電子専門学校	1
兵庫栄養調理製菓専門学校	1
大阪ビューティアート専門学校	1
大原簿記専門学校	1
修成建設専門学校	1
関西美容専門学校	2
京都日産自動車大学校	1
京都医療専門学校	1
京都栄養医療専門学校	1
京都美容専門学校	1
東京観光専門学校	1
日本栄養専門学校	1
専門学校合計	38

就職実績

就職事業所	
公務員	真庭市役所 航空自衛隊
民間事業所	三橋サンプリング株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 株式会社デンソー勝山 株式会社藤岡エンジニアリング 落合工場 日本郵便株式会社 中国支社 銘建工業株式会社 翠宝商事株式会社(プライダルサロン錦屋) 津山信用金庫 社会福祉法人翠明会



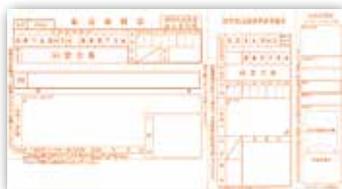
事務局だより

維持会費納入のお願い

このたび、同窓会報第49号を発行することができました。同窓会として、このような会報誌を会員の皆様にお届けすることで、母校を懐かしんでいただき、更には母校の発展、会員の親睦に繋がればと考えております。そこで、同窓会活動の活性化、より内容の充実した会報を皆様にお届けする為に、会員の皆様に維持会費2,000円(平成27年分)のご協力をお願いを申し上げます。

封筒内に振込み用紙を同封しておりますので、お近くのコンビニ、または郵便局からご入金していただきますようお願い申し上げます。

より充実した同窓会の運営、母校発展、会員の親睦の為に、ご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。



同窓会を開催しませんか？

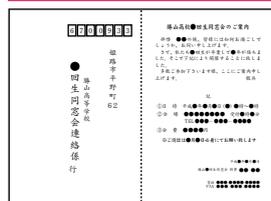
「学年同窓会を開きたいな〜」「最近みんな会ってないな〜」「クラブOB会を開きたいな〜」といったお声にお応えし、同窓会が各種同窓会開催を応援いたします。(有料)

対象者 同窓会員(現旧職員含む)に限ります。

内容

- ①宛名タックシールの作成
 - ②同窓会開催の案内ハガキ(右見本)の作成(往復ハガキ含む)
- ※出欠の集計、会費の入金管理も行うことが可能です。
※個人情報の管理のため住所データの提供は行いません。

案内はがき見本



往復はがき

北側校舎リフォーム

昭和57年建築の第3棟(北側)校舎の長寿命化工事が平成28年8月から行われ、この10月に工事が終了しました。現在2年生教室・芸術科・商業科の授業で使用されています。廊下教室がリフォームされ、特にトイレが新しくなって生徒が喜んでます。洋式トイレに温水洗浄機・暖房便座、もちろんバリアフリーとなっております。外からも利用可能となっておりますので、学校に立ち寄られたら是非ご覧になってください。

